

社会福祉法人幸ヒューマンネットワークの活動をご紹介します

ぬくもり



51号

N・エール1周年特集

りっぷる、ヒューネット幸（ユニット：シャローム幸）がN・エールへ移転してから1年が過ぎました。地域にお住まいの方々やご支援いただいた大勢の方々のご理解、ご協力のおかげで平穩に過ごすことが出来ました。法人職員一同、深く感謝申し上げます。



ご利用者にN・エールを利用した感想をお聞きました！



りっぷる

- ①Aさん＝前よりも広くて過ごしやすくなったと思います。日当たりもいいからプログラムの最中も明るくて気持ちがいいです。室内の色合いもお洒落だし落ち着きます。これからも定期的に通っていきたいと思っています。
- ②Bさん＝フリースペースが広くて過ごしやすいです。コロナが流行っていた時は怖くて中々行けなかったのですが、最近は落ち着いてきたのでまた通い始めようと思いました。
- ③Cさん＝以前のりっぷるよりも綺麗で明るくなった。見ていて落ち着く。

ヒューネット幸（ユニット：シャローム幸）

- ①Aさん＝N・エールに住んで1年が経ちましたが、新しくきれいで日当たりもよく雨風にも強い住まいで、快適に過ごせています。近所周りの買い物なども便が良く、いい住まいにめぐり合えて本当に良かったと思っています。
- ②Bさん＝閑静な住宅の一角にあり、静かで新築で部屋もとてもきれいで住み心地もとてもいいです。
- ③Cさん＝職員の方が自分のスタンスで物事を考えるのを助けてくれるのを実感しました。それがあるので、ホームやりっぷるの生活が気持ちよく送れます。環境的にも生活しやすく、これからも無理せずに今の生活を充実させたいです。

事業所活動報告

コロナ禍でもご利用者の皆さんに安心して過ごしていただけるよう配慮しながら活動してきました。その一部をご紹介します。

りっぷる

(地域生活支援センター)

新型コロナが流行し不安な日々を送る中で、りっぷるには何ができるのか、こういった非常時にりっぷるが憩いの場としてご利用者に提供できるサービスは何なのか、という事を改めて考える機会になりました。

緊急事態宣言中は食事系サービスを中止していたので、食事以外の新しいプログラムやサービスを充実させ、ご利用者にとって過ごしやすい環境作りを心掛けました。創意工夫をしながらご利用者と職員が協力し合い一緒に考える事が出来た1年だったと思います。

このような経験を活かし、今後も続くwithコロナの時代に則したりっぷるのあり方をご利用者と職員が共に考え、地域に根差した運営を志していきたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。



アイロンビーズ



ナイトシアター



Wiiの日

あんさんぶる

(地域相談支援センター)

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置中は、基本的にご利用者宅への訪問やあんさんぶるでの面談を、お電話での相談や解除後に延期にするようお願いしていました。解除後は感染予防対策を取りつつ訪問・面談ともに再開しています。この間、玄関にアルコールオートディスペンサーを設置したり、外出の際には必ずアルコールスプレーを持ち歩いたり、こまめな消毒が負担とならない体制を取るようになりました。

またご支援と直接関係はありませんが、関係機関との会議や研修等がオンラインで開催される機会が増えたことは、コロナ禍以降の大きな変化だったと思います。そのうちオンライン面談が主流となる日がやってくるのでしょうか…。



ヒューネット幸

(グループホーム)

グループホームでは食堂での夕食提供を再開しました。感染症対策を徹底しながら、各ユニット2グループに分かれて少人数で食べています。緊急事態宣言中は食堂で食べることが出来なかったのが、久しぶりの再開に「一人で食べる夕食は寂しかった」「みんなで集まって食べるとより美味しく感じられる」などのお声が上がりました。

また、2年ぶりにお誕生日会も復活！こちら少人数ごとではありますが、ケーキを食べながらお誕生日を迎えるご利用者のお祝いをしました。これからもグループホームで充実した生活を送れるように色々と考えていきたいと思っています！



夕食時の様子



誕生日会のメニュー

みゆき作業所 (地域活動支援センター)

みゆき作業所ではコロナ禍でイベントがほとんど中止となり、また午前と午後の利用時間を分けた時短形式で作業を行ったため、ご利用者同士の交流が少なくなっていました。10月から緊急事態宣言が解除となったことを受け、11月12日（金）にみゆき作業所にて『プチ交流会』を開催しました。

短い時間でしたが、ゆったりした雰囲気で行うことができました。ご利用者からは、
「久しぶりに会うことができ、飼っている犬の話をたくさんできた！」
「前は別の事業所で一緒だったけど、今度はみゆきで再会できた！」
「今回は、いつも会っているメンバーだったから、またやってほしい！」
など概ねご好評をいただき、早くも次回を期待する声を頂戴しました。



プチ交流会



マスクカバー

リサイクルショップメルシーで絶賛販売中です！

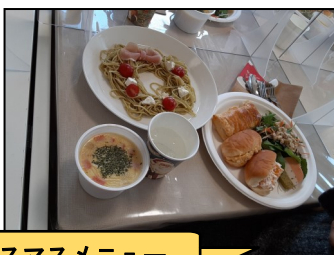
かもみいる (地域活動支援センター)

緊急事態宣言解除後は、感染対策をしながらイベントを少しずつ復活させてきました。昼食サービスが中止の時には、調理訓練のご利用者を家事訓練に切り替えて来所していただき、自宅やホームにこもりがちなならないようご支援しました。

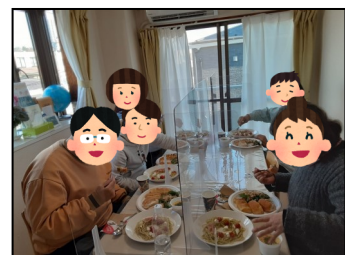
例年開催しているイベントの代わりとして、公共交通機関を使わずに行ける夢見ヶ崎動物公園に桜を見に行ったり、人数と距離を保ちながら施設内でDVDを鑑賞したりしました。

また、訓練終了後の空き時間に余暇活動として塗り絵などに取り組んでいただいています。

10月はハロウィン週間を設けて来所されたご利用者にお菓子をお配りしたり、昼食サービスでカボチャサラダやカボチャプリンなどハロウィンらしいメニューを提供したりしました。11月は散歩で紅葉狩り、12月はクリスマスメニューの昼食を提供するなど、楽しくご利用いただけるよう工夫しました。4月頃からは、状況を見ながら誕生日会など恒例のイベントも復活させていきたいです。



クリスマスメニュー



みんなの広場 ご利用者の素敵な作品を掲載します。どうぞご覧ください。

1番

C Dm7 G7
 いっもしっかりしている 君 だけど
 C Dm7 G7
 いっも強がりばかりの 君 だけど
 Am Em7 Dm7 G7
 時には涙を流そうよ
 Am Dm7 G7
 涙なしには語れぬことがある
 Dm7 G7
 僕にもあるさ
 C Am7Dm C
 まどのむこうに 朝日が昇る
 C Am7 G7
 なみだをふいて 今日も生きよ
 C
 う
 C Dm7 G7 C
 ※時には涙を流そうよ 涙の
 Dm7 G7
 向こうに見えてくるもの
 Am Em7 Dm7 G7 C
 それを信じて生きてゆこうよ
 Dm7 G7 C
 生きてゆこうよ

2番

C Dm7 Gm
 いっも頑張っている 君 だけど
 C Dm7 Gm
 いっも明るく元気な 君 だけど
 Am Dm7 G7
 時には涙を流そうよ
 Am Em7 Dm7 G7
 君の哀しさ話してくれないか
 Dm7 G7
 泣いてあげよう僕も
 C Am7 Dm C
 まどのむこうに 夕陽が沈む
 C Am7
 なみだをふいて
 Dm7 G7 C
 今夜は眠ろう
 ※印 繰り返し



「日本人形」(模写) 画=Yさん(ホーム)

コメント「首のふわふわを頑張りました」

「時には涙を流そうよ」 作詞/作曲=誠さん(ホーム)

コメント「ある女性のことを思いつつ創作したのですが、出来上がった作品は多分に自分にも当てはまる気がします」

他の誰かではなく

あなたとの巡り逢い

唯一無二の絆を携え

ずっとずっと遠くまで

歩いてゆこう 夢見てゆこう

ゆっくりでいいから

日々、新しく創りかえられる私達

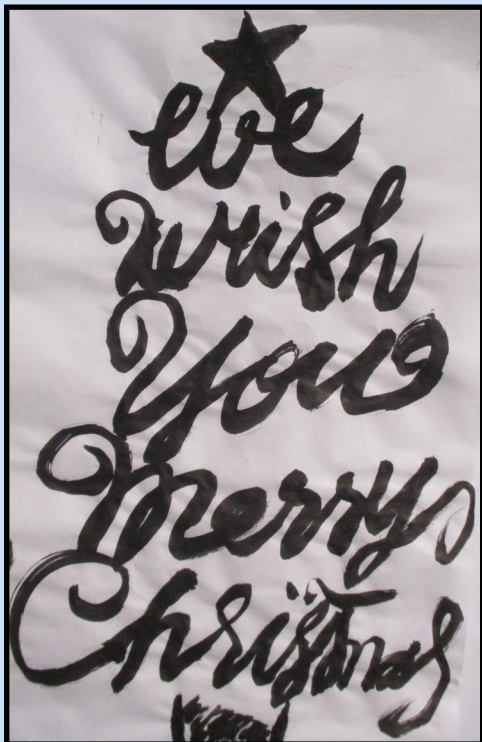
悠久の想い 穏やかに

懐かしくも鮮やかであれ

気高くも健気であれ

「悠久の想い」 作=紡木 盟さん(ホーム)

コメント「元飼い猫へ感謝を込めて」



「無題」

作=タツロウさん(りっぷる)

コメント「季節を感じられる作品を書いてみました」

編集後記=今回はご利用者のお声や作品をたくさん載せることが出来て嬉しかったです。

次年度もよろしくお願いします。